



私のひとりごと

「プロフェッショナル」

村の役員を仰せつかり約半年となる。小さな集落の役員のわりには用事が多く、出役日数にすれば年間70日程にもなる。当然のごとく成り手が無く、集落に家があれば町外に出ている人でも役を受けて貰っている始末で、役員撰出には毎年頭を悩ませている。そんな成り手のない役員ではあるが、たった一つの楽しみに役員旅行がある。報酬の代わりに連れて行って頂くのであるが、この時だけは皆が積極的で、北海道にしようか？沖縄に？と意見はできるが、どちらも予算オーバーで今回は九州に落ち着いた。行程表には、初日福岡ドームで野球観戦し博多泊まり。翌日、唐津虹の松原経由で長崎佐世保市に行き、佐賀県嬉野温泉にて宿泊。三日目は長崎市内観光と成っている。「え！・・・何でそんな所に行くの」と思ってしまっただが、それもその筈。私は22歳から24歳まで佐世保市で暮らし、嬉野は家内の故郷である。おまけに姪っ子の結婚式で帰ったばかり。（でもタダで連れて行って貰えるのだから文句は言いませんけど・・・。）そんな訳で、まるで家に帰る様な気分での出発と成った。さて、福岡空港に着きガイドさんの出迎えを受ける。私の人生で過去何人ものガイドさんとお会いしているが、その中でも一番の年長と思われる。喋り出せば、入れ歯が落ちそうになり聞き取りにくい。いやいや冗談ではなく本当の事である。「まあ～そんなに期待した旅行でもないし・・・」と自分を慰める始末である（ガイドさんゴメンなさい）。ところが、そのガイドさん、三日間カラオケ、ビデオ無しの喋りっぱなしである。移り行く景色の中に、名所旧跡の案内を、まるでその時代にタイムスリップするが如くの



唐津 虹の松原



長崎 グラバー邸

名調子で旅の気分を一層盛り上げてくれる。おかげで、見慣れた景色ではあったが本当に楽しい旅行であった。まさに職人技。プロフェッショナルである。ガイドさんのお別れの言葉に、「今回のご案内が、私のガイド人生の最後のご案内となります、ありがとうございました。」と挨拶された。69歳だそうである。その歳まで（失礼）現役を続けて来られたのもおおいに納得でき、心よりご苦労様でしたと感謝申し上げる。私もそれぞれの持ち場立場で、人に感動を与えられたらと思っているが、あのガイドさんと比べてみても、まだまだ道半ばである。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき・・・

あーがしう
ございました!!

